

1. 康和園における人材育成の考え方

- ・社会人として成長を目指す。
- ・福祉従事者としての職業倫理を確立する。
- ・済生会の組織人としての帰属意識を高める。
- ・「共に育つ」という意識を養成する。
- ・職場内研修を充実強化する。
- ・面接等による個別指導(OJT)を重視する。

2. 新人職員研修目標

「新人研修を充実」させ、共に学び、共に育つ「共育」の意識を育てます。

新人職員に対し、所属する各ブロックのブロックリーダー及び副リーダーの指導のもと、施設長が指名した介護経験5年以上の職員1人を中心に、3ヶ月の育成プログラムに沿って、介護職員としてのケアに対する考え方の基本姿勢や業務内容等を指導しながら、共に学びまた、「施設サービスは、“組織における多職種の協働・連携”で提供されるサービス」と言われています。これを効果的に実施できるような新人研修を実施します。

3. 新規採用職員3ヶ月育成プログラム

1. 新人職員が康和園で実践されている日常業務を的確に理解し、介護方法や必要な知識及び技術を習得するとともに、指導する職員も再度基本業務の確認を行なうことを目的とする。
2. 指導責任者は、所属するブロックリーダーが当たる。指導担当職員は、指名された1名の介護職員を中心にブロック全体で育てることとする。概ねの期間は6カ月間。
3. 指導担当職員は指導責任者を中心にブロックの意見を取りまとめ、指導責任者の指示を受けながら指導に当たる。

介護福祉士有資格者数(令和2年4月現在)

勤続年数	女性人数	男性人数	全体人数
30年以上	4	0	4
25-30年	5	0	5
20-25年	2	2	4
15-20年	1	0	1
10-15年	3	1	4
5-10年	2	2	4
0-5年	9	1	10
	26	6	32

介護総数41名中、有資格者32名で78%が介護福祉士有資格者

※ 現在当園では上記を元に人材育成を行い、介護未経験の方も活躍しています。

